

平成29年度 今治西部丘陵公園指定管理者モニタリング結果

施設名	今治西部丘陵公園
所在地	今治市高地町2丁目乙429-1
指定管理者	<p>名 称 株式会社今治 夢スポーツ</p> <p>代表者 代表取締役 岡田武史</p> <p>住 所 今治市延喜甲604-1</p>
モニタリングの実施方針・方法等	<p>本施設の管理運営業務の確認にあたっては、管理運営状況を事業報告書、実地調査、利用者アンケート、指定管理者へのヒアリング等により把握しました。</p> <p>その後、指定管理業務の課題ごとに、指定管理者による自己評価及び市による評価結果を取りまとめました。</p>
担当部課(問合せ先)	<p>今治市都市建設部 公園緑地課</p> <p>TEL : 0898-36-1563</p> <p>E-mail : kouen@imabari-city.jp</p>

評価内容

課題	指定管理者自己評価		市による評価	
総則	B	<p>しまなみアースランドの運営方針や、理念を社内でミーティングを重ね、制作し、スタッフ間で共有しています。</p> <p>弊社のミッションステートメントや企業理念も、公園設置目的に一致するところがあり、基本方針を大切にしつつ、幅広く活動に発展させています。</p>	B	<p>関係法規や仕様書、施設の設置目的をよく理解し、管理運営を適切に実行している。今後も引き続き施設の設置目的を理解し、積極的に各事業に取り組んでいただきたい。</p>
利用状況	C	<p>前年比較でイベント開催数は大きく増やし、イベントの種類も増やすことが出来ました。</p> <p>参加者の年齢層も広がり多くの方に楽しんでいただけたと思います。</p> <p>来年度も多くのイベントを行ない、公園周知活動に繋がってきたい。</p> <p>学習棟及び環境教育プログラムの利用率は、満足のいく結果になっておらず、利用促進に向けての活動が必要だと感じました。</p> <p>利用率を上げるため、来園者数を前年度比20%増を目指し様々なイベントと絡めることで環境教育プログラムなどの利用率を上げていきます。なお、来年度はサイクリングしまなみの開催に伴う特殊要因も見込んで、20%増としております。</p>	C	<p>学習棟及び環境教育プログラムの利用者は伸び悩んでおり、利用者の増加につながるような取組を期待する。一方、自主事業については、施設の特性を活かした事業を実施し、利用者の確保に努めている。今後も利用者ニーズの把握を行い、魅力的な事業を実施するとともに周知方法も工夫し、利用者の増加につなげていただきたい。</p>
事業収支	B	<p>収入に関しては、利用料収入が計画通りには伸びませんでしたが、自主事業収入が計画より伸び、最終的には計画より83万ほど収入が増加しました。</p> <p>支出に関しては、計画より抑えることができましたが、想定より公課費や機器リース料が増加しました。また、補助金を活用することによりホームページを新しくすることができました。</p>	B	<p>収支の会計処理については、会社と指定管理業務は独立して会計処理が行われており、予算が適切に執行されている。また、国の補助金を活用することにより経費を削減している点は評価できる。引き続き、適正で計画的な執行に取り組んでいただきたい。</p>
管理運営体制	B	<p>スタッフ間で情報を共有できるよう、日常業務の引継用ノートを作成し、誰が事務所にいても対応できるようにしています。</p> <p>また、事業部内ミーティングを重ね、業務改善や情報共有に努めています。</p> <p>事業部以外でも、社内の全体会議や部署間を渡って行われるMTなどにも参加し、会社全体で公園での活動について理解を深めています。</p> <p>アルバイトを採用し、勤務ローテーションの改善に努めています。</p> <p>社内研修や外部講師を呼んでの研修は、適宜開催し、活動の幅を広げたり、理解を深めたりするようにしています。</p>	B	<p>部内で協力して業務改善に取り組んでおり、会社全体で情報を共有できている。外部講師を招いての講習を行っているが、今後も積極的に職員研修を実施し、職員の資質向上に努めていただきたい。</p>

課題	指定管理者自己評価		市による評価	
管理運営業務	B	<p>管理業務については例年通りスタッフ、業務委託先の協力により利用者の方にも満足していただける整備が行なえました。</p> <p>来年度も引き続き利用者の満足度に繋がるような整備を円滑に遂行します。</p> <p>ただ、園内にはまだまだ花が少なく、利用者の方からも花を植えることを提案していただいています。来年度は花苗を育苗し年間を通して花が楽しめるような公園作りをしようと考えています。</p> <p>そのために、業務委託先と十分に協議し、公園整備を充実させることも重要だと考えています。</p>	B	<p>仕様書に基づいた円滑な管理運営業務ができています。特に清掃業務については、委託業者だけでなく管理者も実施しており評価できる。</p>
利用業務	B	<p>今年度は多くのイベントを行なうことで、新規の方への利用促進は出来ていると思います。</p> <p>ただ、利用者の7割が小学4年生以下とその保護者といった客層になっています。</p> <p>中学生以上や新規に出来た大学の学生、シニア世代の方にも利用していただける公園作り、イベントの開催を行ないたいと思います。</p>	B	<p>利用者への対応は適切に行われている。引き続き、自主事業による情報発信、ホームページの充実等を図り、来園者を増やす取組を行っていただきたい。</p>
その他業務	B	<p>園内でのいたずらが増えてきておりますので、園内巡視は気をつけて行っております。</p> <p>省エネルギーに関しては、公園の設立理念にも関わってくるとこでスタッフは気をつけておりますが、学習棟利用者からは冬季のストーブ利用の要望は多く、燃料費が増加傾向にあります。来年度は、ストーブ以外の対応を実施したいと検討しております。</p> <p>駐車場利用時間について、10月から4月末までは8:00～18:00となっておりますが、4月は日も長く18:00はまだ明るいので、来年度からは4月から駐車場利用時間を試験的に20時に変更してみる予定です。</p>	B	<p>その他業務は、適正に業務が遂行されている。事故防止や発生時のマニュアルをプログラムごとに作成し、安全の向上に努めている。今後も継続して緊急時に対応できる体制づくりに取り組んでいただきたい。</p>
修繕業務	B	<p>年度当初は費用を抑えめに計画していた為、年度末に費用が偏ってしまいました。</p> <p>特に備品修繕は、年度末に立て続けに故障が発生しましたが、計画に余裕があったため迅速に対応することができました。</p> <p>秋の大雨時に発生した土砂崩れに関しては、市の災害対策で対応していただきました。</p> <p>今年度で、公園内の1年間の流れやいつどのようなことが発生するのか経験することができましたので、来年度はバランスよく対応できるように改善していきます。</p>	B	<p>利用者の安全を最優先に、費用対効果を考え計画的に修繕を行っていただきたい。</p>
備品管理業務	A	<p>今年度は、スタッフが公園内の環境整備に必要なチェーンソーや草刈機の追加購入の他に、余剰金が出たため、年度末に一般来園者向けに活用するフロアマットや迷路などを購入いたしました。来園者の満足度向上に活用する予定です。</p>	B	<p>備品は必要に応じ適切に購入し管理できている。今後も計画的な購入を行っていただきたい。</p>
行政財産の目的外使用許可手続業務	A	<p>収入実績額が計画額より減っていますが、イベント広場の清涼飲料水自動販売機はユニバーサルデザインを採用し、誰でも使用し易いようにすることにより売上は伸びています。</p> <p>また、学習棟に設置している自動販売機内のパネルには、FC今治の試合告知の他、試合がない時期には公園内の案内も掲示することが出来、自動販売機メーカーと連携し広報としての活用もしています。</p> <p>FC今治デザインの自動販売機にすることにより、弊社独自のカラーが出すことが出来ています。</p>	B	<p>適正な対応が行なわれている。</p>
自主事業	A	<p>今年度は、他の地域団体と共催しマルシェの開催や、有料・無料に関わらず多岐にわたるイベントが開催できました。</p> <p>特に森育とFC今治のサッカー教室とコラボレーションした夏休みの親子イベントは好評で、スタッフ同士でも互いの活動の理解を深めることができました。また、森育以外でも復元の森など、立入制限区域の活用をすることが出来、多くの方に普段見えない公園内の自然に親しんでいただくことができました。</p> <p>今後は、公園内での活動に留まることなく、今治市内の豊かな自然環境を活用した活動へ幅を広げていきたいと考えています。</p>	A	<p>公園設立の趣旨に沿った自主事業を行っており、利用者からの評判もよく、特に野外活動キャンプは人気が高かった。また、多くの事業を実施し、他団体との交流を図ることができた。今後も継続して、積極的な自主事業を行っていただきたい。</p>

課題	指定管理者自己評価		市による評価	
地域団体との連携	B	<p>今治西部丘陵公園を守り育む会には、パークボランティアで公園内の清掃活動などご協力いただいたり、明德短期大学の子育てサークルには森育体験をしていただいています。また今年、児童館が主催するイベントにも参加できたり、今治市内の団体に関わらず、「月草小屋」など市外の団体とも連携することによって来園者の地域も拡充することが出来ました。より多くの団体と連携し、公園の周知にも繋げていきます。</p> <p>来年度は、今治市内の指定管理制度を導入している公園との連携も図り共同でイベントなどを開催し市内公園全体の利用促進にも繋がるような働きかけを行います。</p> <p>来年度は、当社が運営するFC今治や公園隣接地に新設された岡山理科大学獣医学部とも連携していきたいと思えます。</p>	B	<p>地域団体と良好な関係を保ち、連携して事業を行っている。今後は、更に新たな団体との関係を構築し、情報交換や地域交流を深めていくことを期待したい。</p>
利用者アンケート	C	<p>昨年実施したアンケートを元に改善すべきところは改善してきました。</p> <p>スタッフの来客対応について、指導育成を行いました。</p> <p>ところがまだ十分な改善が行なえていないものや、要望にあるイベントなどを開催するには至りませんでした。</p> <p>来年度も利用者の声を聞きながら、コンセプトから離れないような公園を運営していくよう心がけていきます。</p>	C	<p>アンケート結果は、概ね満足であるとの回答が多数を占めているが、アンケート件数が少ない。利用者の声を反映させるために、より多くの利用者からアンケートを実施していただきたい。</p>
事故・苦情	B	<p>大きな事故や怪我もなかったのはよかったと考えています。</p> <p>来園者が増加することによって、軽微なものから遊具の破損に繋がるような大きないたずらが増えてきています。</p> <p>スタッフの巡視や園内放送など公園内でのトラブルやいたずらを未然に阻止する取り組みを今後検討実施して参ります。</p>	B	<p>利用者からの苦情は職員が共有し、適切に対応している。引き続き、安心して利用できる施設となるよう、危険箇所の点検を十分に行い、事故の未然防止に努めていただきたい。</p>
指定管理者の経営状態			適正である。	

総合コメント	
<p>指定管理者は、今治市公園条例及び施行規則並びに業務仕様書に基づき、施設の特性を踏まえた管理運営に努めており、指定管理業務の履行が適切に実施されていると認められる。一方、学習棟及び環境教育プログラムの利用者は伸び悩んでおり、ホームページ等を充実させることによりPR活動を行い、利用者の増加につながるような取組を期待する。自主事業においては、野外活動キャンプなど独創的な事業を実施しており、参加者からの評判も高いので、引き続き利用者ニーズの把握に努め、その結果を踏まえた事業を積極的に行っていただきたい。</p>	